平成27年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年２月５日

上 場 会 社 名　鬼怒川ゴム工業株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　５１９６　URL　http://www.kinugawa-rubber.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）関 山 定 男
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　（氏名）嶋 津 智 昭　(TEL)043(259)3114
四半期報告書提出予定日　平成27年２月12日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成27年３月期第３四半期の連結業績（平成26年４月１日～平成26年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年３月期第３四半期	55,037	△0.2	4,609	△15.8	5,263	△13.8	3,158	△15.0
26年３月期第３四半期	55,160	9.5	5,474	4.2	6,108	10.3	3,717	14.1

(注) 包括利益　27年３月期第３四半期　4,341 百万円（△20.8%）　26年３月期第３四半期　5,479 百万円（77.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
27年３月期第３四半期	46.99	46.89
26年３月期第３四半期	55.30	55.23

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年３月期第３四半期	67,031	34,517	49.8
26年３月期	61,038	31,535	50.0

(参考) 自己資本　27年３月期第３四半期　33,386 百万円　26年３月期　30,511 百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
26年３月期		4.00		5.00	9.00
27年３月期		5.00			
27年３月期(予想)				5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成27年３月期の連結業績予想（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	76,000	2.0	7,300	0.1	7,600	△6.0	4,000	△14.8	59.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年３月期３Ｑ	67,299,522株	26年３月期	67,299,522株
②　期末自己株式数	27年３月期３Ｑ	83,811株	26年３月期	79,060株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年３月期３Ｑ	67,217,821株	26年３月期３Ｑ	67,229,074株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
(継続企業の前提に関する注記) …… 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 11
(セグメント情報等) …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動とその後の個人消費の回復の遅れにより、やや停滞気味に推移いたしました。年末にかけて日銀による金融緩和の拡大実施や消費税率再引き上げの延期などが決定されました。また、海外では米国の景気が好調に推移した一方で、中国の経済成長の鈍化やアジア諸国の一部で経済の低迷が続いております。

当社グループの主要得意先の自動車生産は、前年同期比で国内は約２割弱の減少、海外は中国が微減、米州が約２割の増加、グローバルでは微増となりました。

このような状況の下で、当社グループは車体シール部品に加え防振部品・ホース部品のグローバル供給体制を拡充するとともに、原材料の現地調達や生産性向上などの活動に取り組んでまいりました。前期に発生した米州・タイでの新車部品の生産立上げに伴うロスは、全社を挙げた生産準備活動及び生産管理システムの整備・充実により、大幅に減少いたしました。また、新拠点につきましては工場立上げに関する標準を再設定し直し、進捗管理を徹底することにより計画的に生産を開始しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、５５０億３千７百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

損益につきましては、資材調達や生産性向上などの合理化が米州の収益改善に効果を挙げましたが、利益率の高い日本における生産が減少したことなどにより、営業利益は４６億９百万円（前年同期比15.8%減）、経常利益は５２億６千３百万円（前年同期比13.8%減）、四半期純利益は３１億５千８百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、３２０億６千５百万円（前年同期比5.4%減）となりました。営業利益は、操業度の低下と製品構成の変化により、２６億円（前年同期比22.0%減）となりました。

[米州]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の増加及びメキシコ拠点の生産能力拡大により、８９億９千７百万円（前年同期比28.3%増）となりました。営業利益は、生産性向上や立上げロスの削減などの活動効果がありましたが、５百万円の損失（前年同期は４億８百万円の損失）となりました。

[アジア]

売上高は、中国・タイでの主要得意先の自動車生産の減少により、１３９億７千５百万円（前年同期比2.0%減）となりました。営業利益は、操業度の低下と製品構成の変化により、１９億８千６百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が１０億５千９百万円、受取手形及び売掛金が２３億８千５百万円増加したことなどにより、３７億４千２百万円増加の３５５億６千２百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が１７億１千６百万円増加したことなどにより、２２億４千９百万円増加の３１４億６千８百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて５９億９千２百万円増加の６７０億３千１百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて短期借入金が２９億６千９百万円増加、未払法人税等が９億２千３百万円減少したことなどにより、１９億２千万円増加の２０９億５千６百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が８億４千万円増加したことなどにより、１０億８千８百万円増加の１１５億５千７百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて３０億９百万円増加の３２５億１千３百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が１８億１千８百万円増加、為替換算調整勘定が６億８千１百万円増加したことなどにより、２９億８千２百万円増加の３４５億１千７百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は５４億８千３百万円と、期首に比べて１０億５千９百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が５０億３千３百万円、減価償却費１５億７千８百万円、売上債権の増加１９億６千１百万円、法人税等の支払額２６億９千７百万円などにより、１５億３千万円の増加（前年同期は４２億９千７百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得３０億３千９百万円などにより、３４億９千７百万円の減少（前年同期は３３億７千万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加３５億９千９百万円、配当金の支払額６億８千３百万円などにより、２８億９千６百万円の増加（前年同期は３億１千７百万円の減少）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年３月期通期連結業績予想につきましては、平成26年11月６日に公表いたしました予想数値を修正しております。

修正理由は、日本及びアジアでの主要得意先の自動車生産の減少、利益率の高い日本における生産の減少などにより、操業度が低調に推移する見通しであります。また、原材料の現地調達や生産性向上などの収益改善活動の継続、緊急的な諸費用削減による収益改善を図っておりますが、平成27年３月期の業績に関しましては前回予想を下回る見通しとなりましたので、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成27年３月期の連結業績予想の修正（平成26年４月１日～平成27年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	76,500	8,600	8,600	5,000	74.38
今回修正予想（B）	76,000	7,300	7,600	4,000	59.51
増減額（B－A）	△500	△1,300	△1,000	△1,000	―
増減率（%）	△0.7	△15.1	△11.6	△20.0	―
前期実績（平成26年３月期）	74,543	7,292	8,084	4,694	69.83

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年５月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年５月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第１四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第３四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が667,814千円増加し、利益剰余金が667,814千円減少しております。また、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ26,065千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,424,339	5,483,627
受取手形及び売掛金	17,188,425	19,574,310
商品及び製品	1,392,679	1,314,172
仕掛品	1,292,862	1,374,012
原材料及び貯蔵品	2,655,705	3,000,919
その他	4,908,190	4,917,239
貸倒引当金	△42,474	△101,727
流動資産合計	31,819,728	35,562,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,163,598	5,470,272
機械装置及び運搬具（純額）	5,899,654	7,186,907
工具、器具及び備品（純額）	808,797	908,584
土地	10,456,799	10,735,191
建設仮勘定	1,827,832	1,572,117
有形固定資産合計	24,156,683	25,873,073
無形固定資産		
のれん	163,573	122,346
その他	454,480	434,539
無形固定資産合計	618,054	556,886
投資その他の資産		
投資有価証券	3,794,932	4,470,460
その他	681,718	600,285
貸倒引当金	△32,184	△32,131
投資その他の資産合計	4,444,466	5,038,614
固定資産合計	29,219,204	31,468,574
資産合計	61,038,933	67,031,128

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,245,306	9,353,802
短期借入金	4,452,772	7,422,715
1年内返済予定の長期借入金	682,950	675,400
未払費用	1,483,592	1,148,845
未払法人税等	1,464,198	540,698
賞与引当金	863,190	418,143
その他	1,843,444	1,396,824
流動負債合計	19,035,454	20,956,429
固定負債		
長期借入金	3,392,182	4,232,237
役員退職慰労引当金	38,383	40,832
退職給付に係る負債	4,360,512	4,645,414
その他	2,677,395	2,638,786
固定負債合計	10,468,473	11,557,271
負債合計	29,503,928	32,513,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	849,597	849,597
利益剰余金	21,269,441	23,087,986
自己株式	△34,487	△36,778
株主資本合計	27,739,136	29,555,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,409	137,666
土地再評価差額金	2,471,580	2,471,580
為替換算調整勘定	1,937,413	2,619,131
退職給付に係る調整累計額	△1,718,001	△1,396,930
その他の包括利益累計額合計	2,772,401	3,831,448
新株予約権	57,981	80,462
少数株主持分	965,486	1,050,126
純資産合計	31,535,005	34,517,427
負債純資産合計	61,038,933	67,031,128

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
売上高	55,160,800	55,037,611
売上原価	44,503,588	45,383,915
売上総利益	10,657,212	9,653,695
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	1,258,756	1,295,694
従業員給料及び賞与	1,347,069	1,396,861
法定福利及び厚生費	302,459	313,194
退職給付費用	88,407	75,721
賞与引当金繰入額	72,001	70,611
役員退職慰労引当金繰入額	7,213	1,971
減価償却費	113,228	129,337
賃借料	120,643	105,299
消耗品費	92,497	85,911
のれん償却額	41,226	41,226
貸倒引当金繰入額	－	37,283
その他	1,739,430	1,491,355
販売費及び一般管理費合計	5,182,933	5,044,468
営業利益	5,474,278	4,609,226
営業外収益		
受取利息	35,602	55,634
受取配当金	7,183	5,863
持分法による投資利益	135,323	－
固定資産賃貸料	50,287	37,885
為替差益	398,125	735,119
その他	133,010	179,490
営業外収益合計	759,532	1,013,994
営業外費用		
支払利息	85,522	175,875
持分法による投資損失	－	118,402
貸倒引当金繰入額	－	20,000
その他	40,081	45,728
営業外費用合計	125,604	360,006
経常利益	6,108,206	5,263,214

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
特別利益		
固定資産売却益	825	365
特別利益合計	825	365
特別損失		
固定資産除却損	10,110	79,160
建物解体費用	－	91,400
割増退職金	6,881	41,034
事業構造改善費用	118,131	－
その他	－	18,158
特別損失合計	135,123	229,752
税金等調整前四半期純利益	5,973,908	5,033,827
法人税等	2,173,051	1,806,283
少数株主損益調整前四半期純利益	3,800,856	3,227,544
少数株主利益	83,363	68,995
四半期純利益	3,717,493	3,158,548

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,800,856	3,227,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,581	56,257
為替換算調整勘定	1,454,388	706,260
退職給付に係る調整額	－	317,586
持分法適用会社に対する持分相当額	186,030	34,312
その他の包括利益合計	1,679,000	1,114,417
四半期包括利益	5,479,857	4,341,962
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,283,927	4,217,595
少数株主に係る四半期包括利益	195,930	124,366

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,973,908	5,033,827
減価償却費	1,504,711	1,578,202
のれん償却額	41,226	41,226
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7,178	58,785
退職給付引当金の増減額（△は減少）	91,665	－
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	－	△64,553
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	18,255	2,449
受取利息及び受取配当金	△42,786	△61,498
支払利息	85,522	175,875
有形固定資産売却損益（△は益）	△825	△365
有形固定資産除却損	10,110	79,160
持分法による投資損益（△は益）	△135,323	118,402
売上債権の増減額（△は増加）	△1,107,401	△1,961,410
たな卸資産の増減額（△は増加）	△262,295	△251,187
仕入債務の増減額（△は減少）	1,338,781	792,482
未払消費税等の増減額（△は減少）	81,376	163,093
その他	△1,148,030	△1,362,294
小計	6,441,717	4,342,195
利息及び配当金の受取額	42,786	61,498
利息の支払額	△84,962	△175,875
法人税等の支払額	△2,102,349	△2,697,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,297,191	1,530,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,465,024	△3,039,459
有形固定資産の売却による収入	2,504	4,131
投資有価証券の取得による支出	△1,083,964	△691,324
その他	176,333	228,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,370,150	△3,497,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,112,638	2,819,874
長期借入れによる収入	2,662,204	1,470,536
長期借入金の返済による支出	△1,214,314	△691,083
自己株式の取得による支出	△5,475	△2,291
配当金の支払額	△537,845	△644,497
少数株主への配当金の支払額	△89,273	△38,975
その他	△19,971	△17,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,314	2,896,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	243,747	130,006
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	853,473	1,059,288
現金及び現金同等物の期首残高	2,959,755	4,424,339
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,796	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,829,026	5,483,627

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,880,776	7,012,727	14,267,296	55,160,800	―	55,160,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,104,865	―	342,171	2,447,036	△2,447,036	―
計	35,985,641	7,012,727	14,609,467	57,607,837	△2,447,036	55,160,800
セグメント利益又は損失(△)	3,334,761	△408,016	2,468,951	5,395,697	78,581	5,474,278

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,065,201	8,997,232	13,975,177	55,037,611	―	55,037,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,341,811	37,654	437,419	2,816,885	△2,816,885	―
計	34,407,012	9,034,887	14,412,596	57,854,496	△2,816,885	55,037,611
セグメント利益又は損失(△)	2,600,467	△5,535	1,986,702	4,581,634	27,592	4,609,226

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更に関する事項

会計方針の変更等に記載のとおり、第１四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が26,065千円増加しております。

平成27年2月5日
鬼怒川ゴム工業株式会社
コード番号　5196

参　考　資　料

平成27年3月期 第3四半期 決算概要

【連結決算】

1. 業績

（単位：百万円）

	当第3四半期累計期間実績（H26/4～H26/12）		前第3四半期累計期間実績（H25/4～H25/12）		増減	
売上高	55,037	100%	55,160	100%	△123	△0.2%
営業利益	4,609	8.4%	5,474	9.9%	△865	△15.8%
経常利益	5,263	9.6%	6,108	11.1%	△845	△13.8%
四半期純利益	3,158	5.7%	3,717	6.7%	△559	△15.0%
1株当たり四半期純利益	46.99 円		55.30 円		△8.31円	

2. 貸借対照表

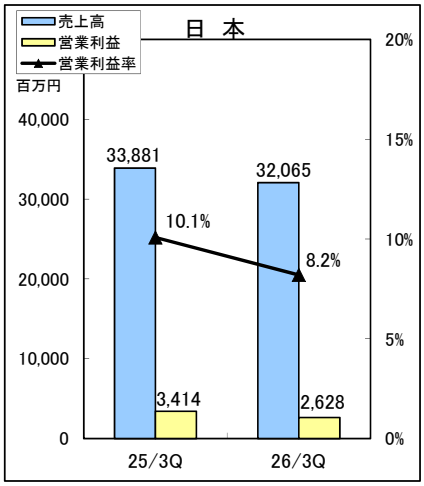
（単位：百万円）

資産の部 科目	第3四半期	前期	増減	負債・純資産の部 科目	第3四半期	前期	増減
流動資産	35,563	31,819	3,744	流動負債	20,957	19,035	1,922
現・預金	5,483	4,424	1,059	買入債務	9,354	8,245	1,109
売掛債権	19,574	17,188	2,386	借入金	8,098	5,136	2,962
棚卸資産	5,689	5,341	348	その他	3,505	5,654	△2,149
その他	4,817	4,866	△49	固定負債	11,557	10,468	1,089
				借入金	4,232	3,392	840
				退職給付負債	4,645	4,360	285
				その他	2,680	2,716	△36
				（負債計）	32,514	29,503	3,011
固定資産	31,468	29,219	2,249	株主資本	29,555	27,739	1,816
有形固定資産	25,873	24,157	1,716	資本金	5,654	5,654	－
無形固定資産	557	618	△61	資本剰余金	850	850	－
投資その他	5,038	4,444	594	利益剰余金	23,088	21,269	1,819
				自己株式	△37	△34	△3
				評価・換算差額等	3,831	2,773	1,058
				新株予約権	81	58	23
				少数株主持分	1,050	965	85
				（純資産計）	34,517	31,535	2,982
合計	67,031	61,038	5,993	合計	67,031	61,038	5,993

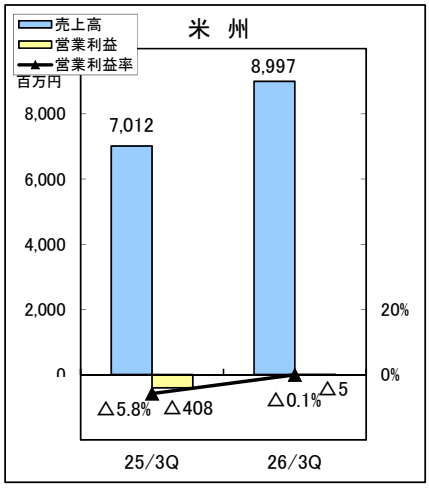
注）主なB/S指標

自己資本比率	49.8%	50.0%	△ 0.2%
総資本回転率	1.1回	1.2回	△0.1回
総資本経常利益率	11.0%	14.7%	―
DER	0.4倍	0.3倍	△0.1倍

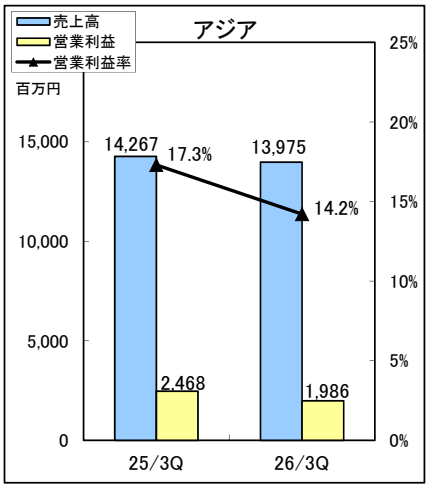
3. 地域別セグメント情報



操業度の低下と製品構成の変化により、減収減益となった。

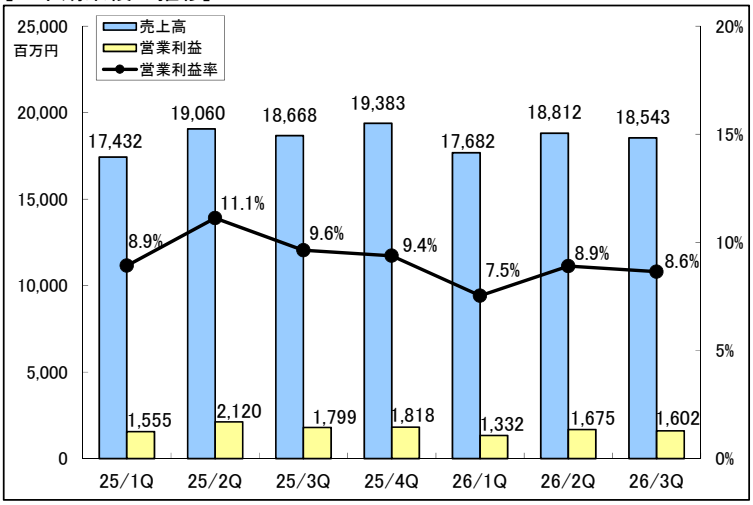


生産性向上や立上げロスの削減などの活動効果により、損失が大幅に縮小した。



操業度の低下と製品構成の変化により、減収減益となった。

[四半期業績の推移]



[当第3四半期の主な活動内容]

1. 短期収益の確保
- 現地スタッフが自主自立で主導した、生産性の向上や廃却ロスの削減などの活動
- 資材、部品の現地化
  樹脂材料及び金具など、現地材料の採用を拡大

2. 売上の拡大
- 重点顧客を中心とした受注拡大
  中国における日産及び日系メーカー、中国民族系メーカーへの車体シール部品の拡販
- 防振部品、ホース部品のグローバル拠点展開
  鬼怒川蕪湖（中国）、メキシコで防振部品の生産を開始
  メキシコ、タイでホース部品の生産を開始

3. 仕事の質向上
- 拠点、設備、新車立上げ及び拠点運営の質の向上
  標準化・基準化・現地語化された手順書によるスキル向上
  グローバルでの生産管理システム改善・現場管理教育の充実